

5-5. ロケータや治具の取付

- ・ チャックボデー表面にロケータや治具を取り付ける場合は、図 12 に示す追加工範囲内に穴明けを行ってください。

斜線部追加工可能範囲

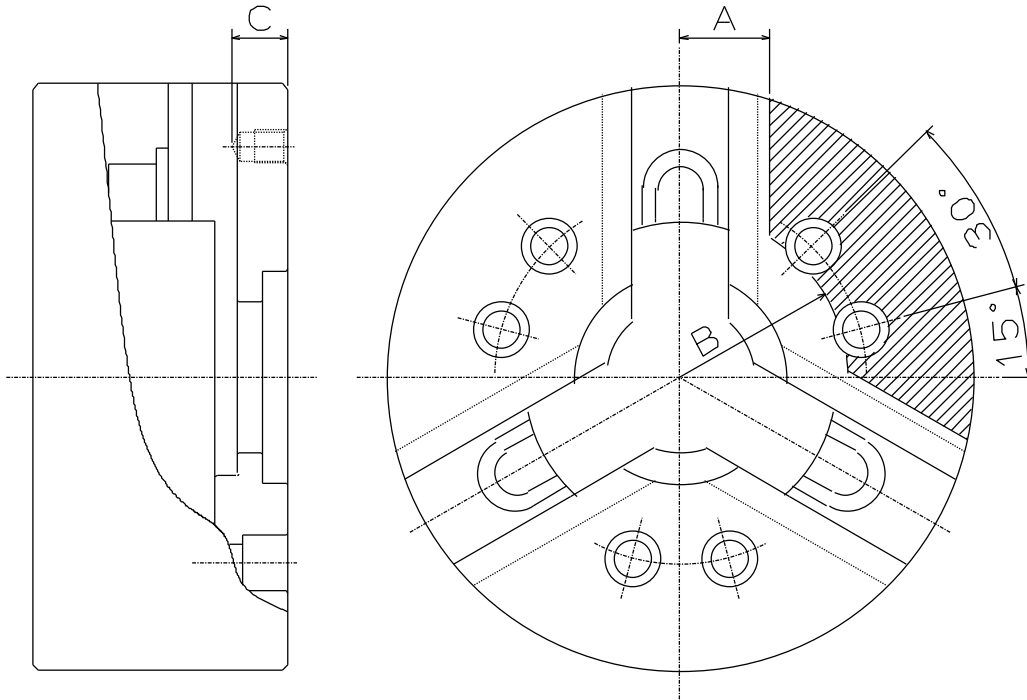


図 12

表 4

形式	A (mm)	B (mm)	C (mm)
B-15	51	107	30 以下
B-18	53	107	30 以下
B-21	53	135	30 以下
B-24	53	150	30 以下

A、B: 追加工不可寸法 C: 加工可能深さ



上記で許可された範囲以外のチャックの改造はしないようにして下さい。チャックが破損するだけでなく、チャックの破損した部品や工作物が飛散し、重大な事故に繋がる恐れがあり、大変に危険です。

ロケータまたは治具には遠心力による飛散防止対策(ドゥエルピン等)を施し、十分な強度のボルトで取り付けるようにして下さい。ロケータや治具が飛散する恐れがあり非常に危険です。